

# 第3章 みどりの将来像と基本方針

市民と行政が共通の認識を持ってみどりのまちづくりを進めていくことができるように、新潟市のみどりのあるべき姿を「みどりのまちづくりの基本理念」「みどりの将来像図」で示します。

## (1) 基本理念と将来像

まちと自然・田園が共存・調和する新潟市独自の形態をふまえ、市民や来訪者へゆとりやすらぎを与える“みどり（水と緑）”を、まちの安全や豊かな農産物を与える「共有の財産」として保全と創出に努めるとともに、この豊かな水と緑を守り・育て、誇りを持って次世代に引き継ぐことを基本理念とします。

【基本理念】

次世代に誇りを持って引き継ぐ豊かな水と緑  
～新潟らしい風格ある都市を目指して～

【目指すべき具体的な将来像】

『新潟市の歴史・個性』と『政令市としての風格』が感じられる都市

### ○おでむかえの気持ちをみどりで演出

- ・新潟空港や新潟港、新潟駅などには、新潟らしさを演出するチューリップなどの花が植えられ、訪れる人を和やかに迎えてくれます。
- ・まちなかでは、まちとしての機能性とみどりの潤いがあいまって、政令市にふさわしいたたずまいを見せてくれます。

### ○道路空間と建物が緑あふれるまちを演出

- ・まちなかの道路は、街路樹だけでなく、沿道の商業施設の公開空地やオープンスペースの植栽で、そこかしこに緑が溢れています。
- ・住宅地へ行くと、街路樹の足元には地域の子供たちが植えた草花が元気に育っています。沿道の住宅をみると、玄関前は自慢のガーデニングで咲き誇った様々な草花が季節の彩りを添えています。

『みどり資源』が『都市の骨格』として保全・活用されている都市

### ○まちを包み込む広大な田園

- ・郊外に広がる田園と集落の景観は、新潟の原風景として市民に愛されています。週末は近くの農業体験施設で農作業に汗をかき、安心・安全な食べ物を作っています。
- ・豪雨の際は雨水を貯留するなど、防災に果たす役割も担っているそうです。

### ○海や河川・潟などの水と緑の空間

- ・海岸や河川・潟周辺などの親水レクリエーション施設周辺には、自然豊かな緑と一体となった水辺の景観が訪れる人を和ませます。昔懐かしいトンボが、最近また見られるようになったそうです。
- ・河川敷地内には、公園があって日曜日になると大勢の子どもや家族が訪れています。スポーツ大会も開催されているようです。

### ○近郊の里山の自然

- ・近くの里山が緑地として開放され、休日は家族で散策などに出かけています。四季を通じて訪れることで里山が身近に感じられるようになりました。
- ・今度、里山の管理にも参加してみようと思っています。

『まちや集落』など、身近に『みどり』があふれる都市

### ○まちの緑

- ・まちに古くからあった御屋敷の緑は、将来的に保全される市民の緑地となり一般に開放されました。まとまった緑が少ないまちなかの貴重な空間です。
- ・古町や万代などの商業地は街路樹や公開空地に豊かな緑と花があふれていて買物が楽しくなります。
- ・マンションや商業ビルには樹木が、道路際にはきれいな草花が施されることが多くなり、まちに潤いが感じられるようになりました。

### ○屋敷林など身近に緑があふれる居住環境

- ・郊外の集落では、屋敷林や神社境内の大きなケヤキなどが、田畑に浮かぶ緑の回廊になっていて、新潟市らしさを感じさせます。
- ・身近な公園は、災害時に一時避難所や復興支援の拠点として活用されるそうですが、いつも通っているので安心です。

### ○郊外の工場や商業施設にも緑がみえます

- ・郊外の大きな工場にも、敷地内に大小様々な樹木があって、建物と緑がうまく調和しています。大きな商業店舗では、駐車場の要所に樹木が、入口付近におかれたプランターには草花が咲いて、利用者を和ませてくれます。

『みどりの維持・育成』に住民も参画している都市

### ○公園の管理を住民、企業、行政の協働で

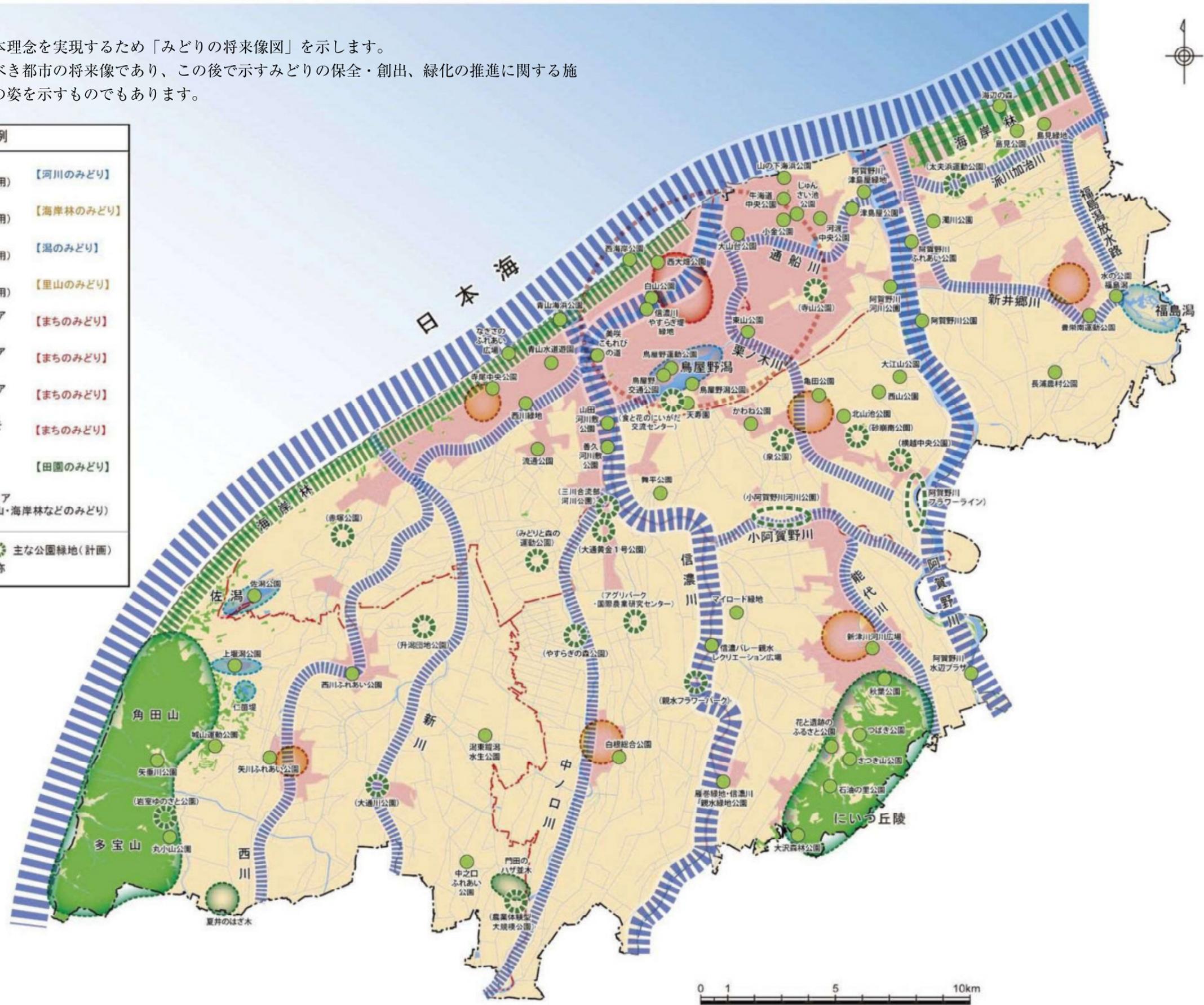
- ・僕の小学校では、総合学習の一環として、近くの公園を管理しています。アダプト制度というそうです。何度となく草取りや清掃をしているうちに、愛着が湧いてきました。
- ・私の暮らすまちにも、ちょっと歩いた先に公園があり、近所の方が集まります。この公園は町内みんな管理しているから愛着があります。

【みどりの将来像図】

みどりのまちづくりの基本理念を実現するため「みどりの将来像図」を示します。

本図は、本計画が目指すべき都市の将来像であり、この後で示すみどりの保全・創出、緑化の推進に関する施策が実現した新潟市の将来の姿を示すものでもあります。

凡 例	
	水の軸 (自然環境の保全と活用) 【河川のみどり】
	緑の軸 (自然環境の保全と活用) 【海岸林のみどり】
	水の拠点 (自然環境の保全と活用) 【湯のみどり】
	緑の拠点 (自然環境の保全と活用) 【里山のみどり】
	みどりを演出するエリア (都心) 【まちのみどり】
	みどりを演出するエリア (都心周辺部) 【まちのみどり】
	みどりを演出するエリア (まちなか) 【まちのみどり】
	みどり豊かな生活環境を 目指すエリア(まち) 【まちのみどり】
	豊かな田園を保全する エリア 【田園のみどり】
	貴重な緑を保全するエリア (里山・海岸林などのみどり)
	● 主な公園緑地(既存)
	○ 主な公園緑地(計画)
※ 計画公園緑地の名称は仮称	



## (2) 基本計画の体系図

### 基本理念

次世代に誇りを持って引き継ぐ豊かな水と緑

～新潟らしい風格ある都市を目指して～

＜目指すべきみどりの将来像＞

『新潟市の歴史・個性』と『政令市としての風格』が感じられる都市

『まちや集落』など、身近に『みどり』があふれる都市

『みどり資源』が『都市の骨格』として保全・活用されている都市

『みどりの維持・育成』に住民も参画している都市

＜新潟市のみどりの形成過程＞

新潟市は水田、海浜、河川、湖沼、海岸林、里山など多様な自然環境に恵まれています。

本市の歴史は、信濃川と阿賀野川の大氾濫により湿田が形成され、いたるところに湯がでけ、漁や稲作が行われてきました。

その後大規模な排水施設の建設や土地改良により広大な面積が乾田化され現在の水田に生まれ変わり、今では美しい田園が広がる越後平野を形成しています。

また、海岸沿いの保安林については江戸時代末期より飛砂と強風からまちを守るため黒松を砂丘に植林し、林を作ってきました。

一方、平野に接して森林を有する角田山、多宝山、にいつ丘陵などの自然的な緑も有しています。

いずれの緑も人との関わりのなかで形成されてきたものです。

今後はこれらの個性的な水と緑の資源を市民と共にさらに保全・活用しながら、新潟らしい風格ある都市を目指します。

### 取組みの成果

- **市民一人当たりの公園面積**  
 12.6㎡/人（令和3年度末時点）
- **緑化活動団体数**  
 335団体（令和3年度末時点）



### 緑化推進のための具体的な取組み（第2編）

特にみどりが不足している、まちのみどりの保全・創出、緑化の推進を重点的に取組みます。

<h4 style="background-color: #f44336; color: white; padding: 2px;">1. 公共空間でのみどりの創出</h4> <p>① 公共施設緑化の推進（p2-3） （公共施設緑化ガイドラインの策定） ・今後計画される公共施設の設計に際して、「公共施設緑化ガイドライン」を策定し、緑化の推進を図ります。</p> <p>② 公園の整備（p2-5） ・新・新潟市総合計画や区ビジョンまちづくり計画により計画されている公園・緑地の整備を推進します。</p>	<h4 style="background-color: #2196f3; color: white; padding: 2px;">2. 民間の緑地の保全・緑化の推進</h4> <p style="color: red; font-weight: bold;">■緑地を保全するための取組み</p> <p>① 民間緑地の保全に関する制度の活用（p2-6） ・市民緑地制度など、各制度を検討し、民間緑地の保全に取組みます。</p> <p>② 保存樹等の指定の推進（p2-8） ・優れた樹木・樹林を保全するため、その保全活動に助成を行います。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">■緑化を推進するための取組み</p> <p>③ 市街地整備によるみどりの質と量を向上させるための検討・推進（p2-10） ・良好な市街地形成を図るため、市街地整備において、みどりの質と量を創出する方法について検討し推進します。 ・市街地のみどりの質・量を確保するため、屋上や壁面を緑化する制度の検討を行います。</p> <p>④ まちなかにおける公園やオープンスペースでのみどりの創出（p2-12） ・民間施設などの改変にあわせオープンスペース等の確保に努め、みどりを創出します。</p> <p>⑤ 生垣設置奨励助成制度や緑地協定制度の活用促進、地区計画制度の推進（p2-14） ・既存の制度をより一層活用してもらえよう、周知やPRに努めます。</p>	<h4 style="background-color: #4caf50; color: white; padding: 2px;">3. みどりの維持管理を図る（協働）</h4> <p>① 緑化活動団体への支援（p2-17） ・自主的な緑化・維持管理活動の拡大を目指します。</p> <p>② 公園アダプト制度の推進（p2-19） ・実施団体等のヒアリングを通じ、アダプト制度の拡充を目指します。</p> <p>③ 公園愛護会の充実（p2-21） ・公園愛護会相互の連携を図りながら、協働で行う維持管理意識の醸成や体制の強化・推進に努めます。</p>
---	---	--

## 【緑化重点地区】

### 1. 緑化重点地区とは

都市計画法第4条において、「重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区」として、緑の基本計画に定めることができる地区です。

### 2. 緑化重点地区指定区域

緑化重点地区は、下記の区域を対象とします。

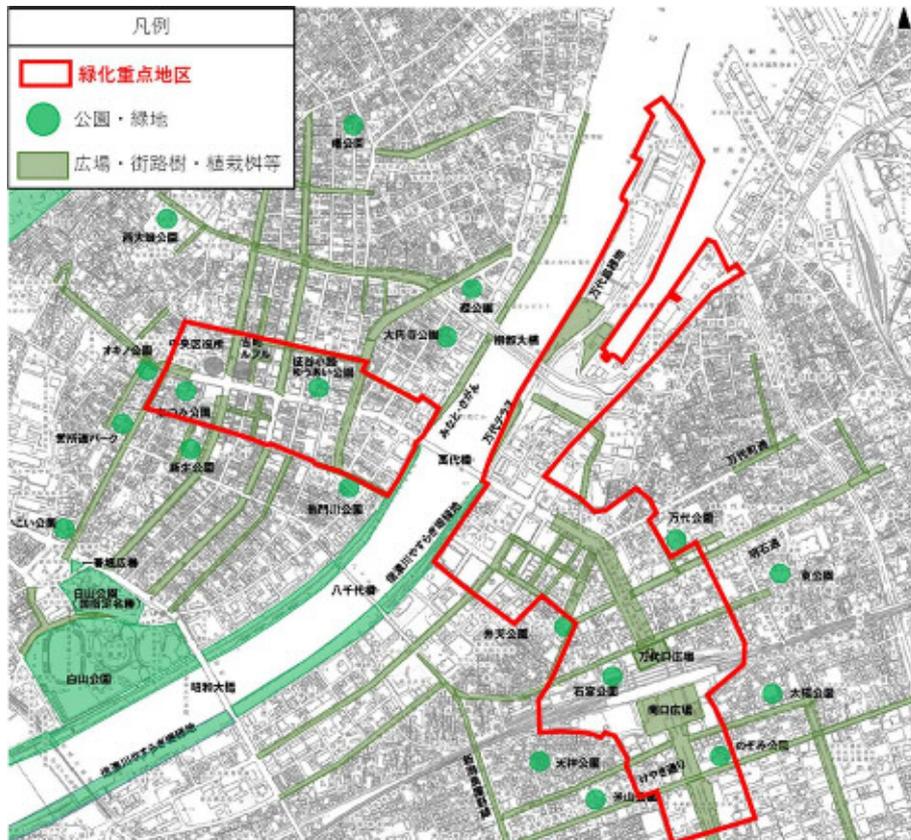
#### ①新潟都心地域緑化重点地区（令和4年7月指定）

この地区は、新潟駅から萬代橋、古町を含む、都市のシンボルとなる地区であり、都心のまちづくりの中心であるにいがた2km区域でもあります。当該エリアは特に緑が少ないほか、令和3年9月に都市再生緊急整備地域に指定されたことにより、再開発事業やビルの建て替えなど、大きく変わろうとしている区域です。

官民連携したまちづくりによる緑豊かな都市空間の創出のため、様々な緑化施策を重点的に取り組みます。

指定区域は、都市再生緊急整備地域と同じ区域とします。

#### ■新潟都心地域緑化重点地区区域図



### (3) 基本方針

#### 1) 基本的な考え方

住みよい新潟市、魅力の高い新潟市を創出するために、みどりの量を増やすとともに、質の高いみどりの保全・創出も重要となってきます。

質の高いみどりとは、水においては水質の浄化や多自然型の水辺空間の形成、緑においては適正に管理された里山や海岸林、まちの緑においては、潤いや安らぎを感じさせる緑の演出や、住宅地での生垣緑化の推進など、緑視向上による景観形成などが挙げられます。

今後はまず、今あるみどりをできる限り残すことに留意しながら、みどりのもつ役割を効果的に発現させ、新潟市の個性と魅力を高めるみどりの演出や創出が重要となります。

今後、みどりの将来像を実現するために、新潟市における水と緑の効果的な保全・創出、ならびに緑化を推進するための考え方として基本方針ならびに方策を示します。

#### 2) 6つの基本方針と12の方策

上位計画などの将来都市像、みどりのまちづくりの基本理念から、6つの基本方針と12の方策を定めます。

##### ■6つの基本方針

1. まちを包み込む多様な水と緑を保全・活用します
2. 新潟市としての歴史・個性、魅力をみどりで演出します
3. 生活の舞台となる身近な空間にみどりを創出します
4. 潤いとやすらぎをもたらし、生活を豊かにするレクリエーションの場を創出します
5. 安心・安全や環境に配慮するみどりの機能強化を図ります
6. 市民と協働で進めるみどりのまちづくりを目指します

##### ■12の方策

- ①. 新潟市を特徴づける水と緑の骨格の保全・活用
- ②. 水と緑のネットワークの形成
- ③. みどりによる交流空間づくり
- ④. みどりによる生活空間づくり
- ⑤. 身近な公園・緑地の確保
- ⑥. 特徴のある公園・緑地の創出
- ⑦. 河川・海岸など水辺のみどりの保全・活用
- ⑧. 公園・緑地の良好な維持管理
- ⑨. 災害に強い都市のためのみどりの配置
- ⑩. 環境にやさしい都市のためのみどりの保全・創出
- ⑪. みどりを守り育てる心を育む
- ⑫. 市民との協働によるみどりのまちづくり

## 方針1 まちを包み込む多様な水と緑を保全、活用します【水と緑のネットワーク】

本市では、信濃川と阿賀野川に代表される大河や、日本海の海岸線、湖沼などの自然的要素が水と緑のネットワークの拠点、あるいは軸線となっています。こうした骨格的な水と緑の空間を基本に、まちと郊外、農村などを有機的に連携することで、広大な市域をひとつの都市としての一体感を高めることが可能となります。

### 方策① 新潟市を特徴づける水と緑の骨格の保全、活用

新潟市の骨格を構成する多様なみどりを充実させていきます

【キーワード】

- 都市の構造や輪郭を形成する里山、海岸や河川、潟などのみどり（みどりの拠点と軸）
- 住宅地を取り囲む農地（水田・畑）の環境保全機能
- 田園都市を形成する景観資源としての農地

【具体的なターゲット】

- ・日本海（みなと）、信濃川、阿賀野川、湖沼、角田山・多宝山やにいつ丘陵の里山など、本市を特徴づける場における緑の保全・創出と発信
- ・都心にあって、田園都市としてのイメージを与える景観資源としての農地の保全
- ・食料供給地、一次産業活動の場となる広大な農用地、チューリップをはじめとした花卉生産の場の保全



佐潟と角田山

### 方策② 水と緑のネットワークの形成

新潟の特徴的な水辺や丘陵、農地などの緑の連携を推進します

【キーワード】

- 骨格的な拠点・軸を相互に連携するみどり

【具体的なターゲット】

- ・豊かなみどり資源を維持・向上させる水資源の安定と安全を確保する里山や河川の緑の保全
- ・山から海へ連なる河川・水辺のネットワークの形成
- ・まちや集落を結ぶ街路樹ネットワークの形成
- ・高速道路やバイパスの道路路面や鉄道敷などの緑化によるみどりの連なりを創出するネットワークの形成



メタセコイア通り（街路樹100選）

## 方針2 新潟市としての歴史・個性、魅力をみどりで演出します【個性ある政令市】

2007年4月に本市は全国16番目の政令市に指定されました。本州日本海側初であり、また「田園型政令市」を標榜する本市は、農業産出額や食糧自給率などにおいて他の政令市には無い特徴を有しています。こうした新潟市としての特徴を最大限に活かすことで、都市としての個性や魅力を高めていきます。

### 方策③ みどりによる交流空間づくり

新潟に観光などで訪れるお客様を豊かなみどりでお出迎えます

【キーワード】

- 観光、歴史、文化を活かした、個性あるまちを演出するみどり
- 緑豊かでゆとりと潤いのある都市環境を創出
- 多様な水と土に育まれた、特徴ある緑の活用

【具体的なターゲット】

- ・都心やまちなかなど、新潟市や各区を代表する空間における緑の演出（緑化重点地区）
- ・駅・港・新潟空港など都市の玄関口となる場所における緑の演出
- ・幹線道路の沿道景観の演出、主要交差点や橋梁部など景観変化点における緑視率の確保
- ・道路と沿道敷地が一体となった空間における緑の創出（民有地の接道部の緑化、商業業務ビルの公開空地）による緑視の向上
- ・堀と柳など、水と緑を活かした魅力あるまちなか空間の形成
- ・公共公益施設及び周辺の土地建物が一体となった緑あふれる都市空間の形成
- ・市内外からの集客が見込める施設敷地内及び周辺の緑化
- ・花絵プロジェクトや水と土の芸術祭などの観光イベントを契機とした緑化の推進
- ・新潟市の風土・歴史を踏まえた樹種・植栽の選定



みなとびわ



新潟駅前



県政記念館



中央区 東大通

### 方針3 生活の舞台となる身近な空間にみどりを創出します【身近な空間のみどり】

道路沿道や河川や海岸沿い、線路沿いなど、異なる土地利用（異なる土地管理者）が接する境界付近は人や車などが多様に活動する空間です。また、こうした空間は、多くの人の目にふれる場所であり、そこに緑があるか？どのような緑か？ということは、その場所、さらに地域全体のイメージ形成に直結する要素となります。

#### 方策④ みどりによる生活空間づくり

公共公益施設や道路空間のみどりを拡充し、都市生活を豊かに演出します

【キーワード】

- 住居地域における、民有地と公有地が接する空間にみどりを創出
- 四季の変化を実感できる快適な生活環境の創出、保全

【具体的なターゲット】

- ・生垣設置の推進を行うことにより緑の街並作りを形成
- ・区画整理事業の際、道路（街路樹）、公園などの緑化と緑地協定の締結を推進
- ・道路と沿道敷地が一体となった空間における緑の創出（道路緑化、民有地の接道部の緑化）による緑視の向上
- ・都市における限られた土地を緑で覆う、屋上・壁面緑化を推進（緑化重点地区）
- ・まちにおける美観風景維持を図るため、保存樹・保存樹林として指定の促進を図る
- ・小規模ながら多様な自然性を保つ社寺・屋敷林などの民有地の緑の保全・活用（市民緑地など）



松波町ポケットパーク



生垣緑化

### 方針4 潤いと安らぎをもたらし、生活を豊かにするレクリエーションの場を創出します【公園緑地】

身近な空間に緑地やオープンスペースが存在することは、そこでの生活に潤いや豊かさ・安らぎを与えるだけでなく、愛着心を醸成する要素となります。また、それは居住地のみならず、商業・業務地を様々な目的で来訪する主体にとっても同様であり、そうした生活者のニーズに応じた公園またはオープンスペースづくりが求められます。

#### 方策⑤ 身近な公園・緑地の確保

日常の生活を豊かにするみどりを拡充します

【キーワード】

- 歩いて公園にいけるまち
- 商業業務空間の魅力を高めるオープンスペース
- 緑あふれる豊かなまち（緑被率の向上）

【具体的なターゲット】

- ・適正な都市公園の配置による量的充足
- ・商業業務空間における小公園・緑地空間の創出
- ・借地公園の推進



西大畑公園

#### 方策⑥ 特徴のある公園・緑地の創出

地域の個性や雰囲気演出するみどりの拡充に努めます

【キーワード】

- 地域の特徴（ロケーション）に応じた緑地空間の整備
- 利用者のニーズ、リクエストに応じた個性・機能の創出

【具体的なターゲット】

- ・公園機能の充実（レクリエーションなど特定の用途に特化した空間整備）
- ・時節に応じた変化や魅力を感じさせる公園・緑地の創出
- ・都市を代表する、顔となる公園（都市の個性とイメージをPRする公園）の整備



福島潟（菜の花畑）

### 方策⑦ 河川・海岸など水辺のみどりの保全・活用

市民の憩うレクリエーションの場を豊かにしていきます

【キーワード】

- 都市住民のレクリエーションの場としての水辺空間

【具体的なターゲット】

- ・都市住民の親水空間としての水辺（生活に潤いと安らぎを与える水辺空間）の保全・活用・創出
- ・イベントやレクリエーション空間としての河川及び海岸緑地保全・活用



早川堀

### 方策⑧ 公園・緑地の良好な維持管理

将来にわたり良好な公園緑地を提供するため、維持管理に努めます

【キーワード】

- 将来にわたり利用可能な公園緑地
- 現状の公園緑地の整備と管理の質的向上
- 景観に配慮した整備・維持

【具体的なターゲット】

- ・公園緑地の維持管理の適正化の検討
- ・公園施設長寿命化計画の策定
- ・公園の再整備



やすらぎ堤  
(萬代橋チューリップフェスティバル)

### 方針5 安心・安全や環境への配慮に関するみどりの機能強化を図ります

【安心・安全】

仮に適正な密度や面積で緑地・オープンスペースが配置されていたとしても、その空間の質、すなわち緑地の量と質によっては周辺地域に与える効果が異なります。言い換えれば、空間内での緑の量や質を工夫することで効果を補うことができます。

都市生活における防災や環境緩和など安全・安心に資する緑の効果を最大限に発揮させるための工夫が必要となります。

### 方策⑨ 災害に強い都市のためのみどりの配置

防災拠点としての公園の機能強化に努めます

【キーワード】

- 避難地としての公園・緑地
- 避難路としてのみどり空間
- 防災活動の場としての公園・緑地

【具体的なターゲット】

- ・一時避難場所及び広域避難場所としての適正な都市公園の配置
- ・延焼遮断など、災害時の避難路としての機能を強化するための道路緑化の推進
- ・広域的な防災活動拠点として機能する公園緑地の配置
- ・公園利用者の安全を確保するため防犯性の高い公園緑地の推進



広域的な防災拠点としても機能する  
鳥屋野湯公園

### 方策⑩ 環境にやさしい都市のためのみどりの保全・創出

みどりの環境緩和機能を認識し、低炭素型社会づくりを推進します

【キーワード】

- 生活環境の悪化を防止する・緩和するみどり
- 地球環境保全に資するみどり
- 生物多様性の保全の場所としての水辺空間

【具体的なターゲット】

- ・騒音や大気汚染など生活環境悪化を緩和するみどりの保全・創出（緩衝緑地など）
- ・二酸化炭素吸収源としてのみどりの保全・創出
- ・野生生物の育成、生息地を確保するためのみどりの保全・創出



生活環境を保全する都心の公園緑地  
白山公園  
(写真提供：新潟日報社)

## 方針6 市民と協働で進めるみどりのまちづくりを目指します【市民との協働】

「公園アダプト制度」や「公園愛護会制度」など、緑の維持管理には市民や民間の積極的な参加が不可欠となっています。今後も円滑な協働体制を推進するために、緑の保全や維持管理を行うしくみや支援制度の展開、普及・啓発の拡充などを通じて、市民や民間とのパートナーシップを構築していくことが求められます。

### 方策⑪ みどりを守り育てる心を育む

みどりの機能や役割を市民と共有していきます

【キーワード】

- みどりに対する意識醸成
- 知識・見識の向上
- 花育活動の推進
- 自然を守る緑のあり方を学ぶ

【具体的なターゲット】

- ・市民のみどりに対する意識の醸成
- ・緑化の知識、見識を高める取組み
- ・都市緑化に関する情報発信
- ・自然再生としての緑の認識



ガーデニング講座

### 方策⑫ 市民との協働によるみどりのまちづくり

市民の皆さまとともにみどりを守り、育てていきます

【キーワード】

- 参加・協働
- 役割分担
- 発展的かつ柔軟なしくみ、制度づくり

【具体的なターゲット】

- ・市民参画による緑化推進とみどりの維持管理
- ・交流の場・空間としての公園緑地の利活用
- ・緑化推進やみどりの維持管理に関する各種制度、しくみづくり



緑化活動

### 3) 基本方針と方策一覧

基本方針の内容を整理するとともに、その基本的な方向性として12の方策のターゲットを示します。

表：6つの基本方針と12の方策

	基本方針 (6)	キーワード	方策 (12)	具体的なターゲット
1	【水と緑のネットワーク】 まちを包み込む多様な水と緑を 保全、活用します	○都市の構造や輪郭を形成する里山、海岸や河川、潟などのみどり (みどりの拠点と軸) ○住宅地を取り囲む農地 (水田・畑) の環境保全機能 ○田園都市を形成する景観資源としての農地	①新潟市を特徴づける水と緑の骨格の保全、活用	・日本海 (みなど)、信濃川、阿賀野川、湖沼、角田山・多宝山やにいつ丘陵の里山など、本市を特徴づける場における緑の保全・創出と発信 ・都心において、田園都市としてのイメージを与える景観資源としての農地の保全 ・食料供給地、一次産業活動の場となる広大な農用地、チューリップをはじめとした花卉生産の場の保全
		○骨格的な拠点・軸を相互に連携するみどり ○多様な生態系の連なりを形づくるみどり	②水と緑のネットワークの形成	・山から海へ連なる河川・水辺のネットワークの形成 ・豊かなみどり資源を維持・向上させる水資源の安定と安全を確保する里山や河川の緑の保全 ・まちや集落を結ぶ街路樹ネットワークの形成 ・高速道路やバイパスの道路法面や鉄道敷などの緑化によるみどりの連なりを創出するネットワークの形成
2	【個性ある政令市】 新潟市の歴史・個性、魅力のみどりで演出します	○観光、歴史、文化を活かした、個性あるまちを演出するみどり ○緑豊かでゆとりと潤いのある都市環境を創出	③みどりによる交流空間づくり	・都心やまちなかなど、新潟市や各区を代表する空間における緑の演出 (緑化重点地区) ・駅・港・新潟空港など都市の玄関口となる場所における緑の演出 ・幹線道路の沿道景観の演出、主要交差点や橋梁部など景観変化点における緑視の向上 ・道路と沿道敷地が一体となった空間における緑の創出 (民有地の接道部の緑化、商業業務ビルの公開空地) による緑視の向上 ・歴史を活かした水と緑による魅力ある都市空間の形成 ・公共施設及び周辺の土地建物が一体となった緑あふれる都市空間の形成 ・多くの人が交流する施設の敷地内及び周辺の緑化
3	【身近な空間のみどり】 生活の舞台となる身近な空間にみどりを創出します	○住居地域における、民有地と公有地が接する空間にみどりを創出 ○四季の変化を実感できる快適な生活環境の創出、保全	④みどりによる生活空間づくり	・生垣設置の推進を行うことにより緑のまちなみを形成 ・区画整理事業の際、道路 (街路樹)、公園などの緑化と緑地協定の締結を推進 ・道路と沿道敷地が一体となった空間における緑の創出 (道路緑化、民有地の接道部の緑化) による緑視の向上 ・都市における限られた土地を緑で覆う、屋上・壁面緑化を推進 (緑化重点地区) ・まちにおける美観風景維持を図るため、保存樹・保存樹林として指定の促進を図る ・小規模ながら多様な自然性を保つ社寺・屋敷林などの民有地の緑の保全・活用 (市民緑地など)
4	【公園緑地】 潤いとやすらぎをもたらし、生活を豊かにするレクリエーションの場を創出します	○歩いて公園にいけるまち ○商業業務空間の魅力高めるオープンスペース ○みどりあふれる豊かなまち (緑被率の向上)	⑤身近な公園・緑地の確保	・適正な都市公園の配置による量的充足 ・商業業務空間における小公園・緑地空間の創出 ・借地公園の推進
		○地域の特徴 (ロケーション) に応じた緑地空間の整備 ○利用者のニーズ、リクエストに応じた個性・機能の創出	⑥特徴のある公園・緑地の創出	・公園機能の充実 (レクリエーションなど特定の用途に特化した空間整備) ・時節に応じた変化や魅力を感じさせる公園・緑地の創出 ・都市を代表する、顔となる公園 (都市の個性とイメージをPRする公園) の整備
		○都市住民のレクリエーションの場としての水辺空間	⑦河川・海岸など水辺のみどりの保全・活用	・都市住民の親水空間としての水辺 (生活に潤いと安らぎを与える水辺空間) の保全・活用・創出 ・イベントやレクリエーション空間としての河川及び海岸緑地の保全・活用
		○将来にわたり利用可能な公園緑地	⑧公園・緑地の良好な維持管理	・公園緑地の効果的、効率的な維持管理の検討・推進 ・公園施設長寿命化計画の策定 ・公園の再整備
5	【安心・安全】 安心・安全や環境への配慮に関するみどりの機能強化を図ります	○避難地としての公園・緑地 ○避難路としてのみどり空間 ○防災活動の場としての公園・緑地	⑨災害に強い都市のためのみどりの配置	・一時避難場所及び広域避難場所としての適正な都市公園の配置 ・延焼遮断など、災害時の避難路としての機能を強化するための道路緑化の推進 ・広域的な防災活動拠点として機能する公園緑地の配置 ・公園利用者の安全を確保するため防犯性の高い公園緑地の推進
		○生活環境の悪化を防止する・緩和するみどり ○地球環境保全に資するみどり	⑩環境にやさしい都市のためのみどりの保全・創出	・騒音や大気汚染、水質汚濁など生活環境悪化を緩和するみどりの保全・創出 (緩衝緑地など) ・二酸化炭素吸収源としてのみどりの保全・創出 ・野生生物の生育、生息地を確保するためのみどりの保全・創出
6	【市民との協働】 市民と協働で進めるみどりのまちづくりを目指します	○みどりに対する意識醸成 ○知識・見識の向上 ○花育活動の推進	⑪みどりを守り育てる心を育む	・市民のみどりに対する意識の醸成 ・緑化の知識、見識を高める取組み ・都市緑化に関する情報発信
		○参加・協働 ○役割分担 ○発展的かつ柔軟的なしくみ、制度づくり	⑫市民との協働によるみどりのまちづくり	・市民参画による緑化推進とみどりの維持管理 ・交流の場・空間としての公園緑地の利活用 ・緑化推進やみどりの維持管理に関する各種制度、しくみづくり

## (4) まちのみどりについて

新潟市のみどりは、まちのみどり、里山や海岸林のみどり、河川や潟のみどり、農地のみどりから成り立っています。これらのみどりについての保全・活用については、各々個別計画で施策が展開されています。

今回のみどりの基本計画は、みどり豊かな新潟市を守るための基本理念を実現するため、それらの個別計画と連携を図るとともに、特に減少傾向にあるまちのみどりについて、保全・創出、緑化の推進を重点的に取組みます。

良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の確保に寄与するためには、減少傾向にあるまちのみどりを保全、創出することが重要となっています。

しかしながら、まちの中は既に多くの土地が様々な用途で利用されているため新たなみどりを増やすことは難しく、既存のみどりは宅地開発などの都市的土地利用により減少する傾向となっています。

このような状況を踏まえ、**まちのみどりを減少させない**ため、既存のみどりを可能な限り保全し、併せてまちの公園緑地の整備や、公共施設、民有地の緑化の推進を図るように努めていきます。

また今後は、まちなかの緑の演出や、住宅地での生垣緑化の推進、新たな市街地整備に伴うみどりの創出など、みどり豊かで快適な都市環境や、潤いと安らぎのある生活環境をつくりだすよう努めていきます。

### 【まちのみどりの現況】

- 民有地にある屋敷林などは、維持管理の負担軽減などの様々な理由から減少する傾向にあります。
- まちの中の農地などは、効率的な都市的土地利用を行うために宅地などに開発されることが多く、これらのみどりも減少する傾向にあります。



### 【まちのみどりについての取組み】

1. 公共空間でのみどりの創出
  - ① 公共施設緑化の推進（公共施設緑化ガイドラインの策定）（p2-3）
  - ② 公園の整備（p2-5）
2. 民間の緑地の保全・緑化の推進
  - 緑地を保全するための取組み
    - ① 民間緑地の保全に関する制度の活用（p2-6）
    - ② 保存樹等の指定の推進（p2-8）
  - 緑化を推進するための取組み
    - ③ 市街地整備によるみどりの質と量を向上させるための検討・推進（p2-10）
    - ④ まちなかにおける公園やオープンスペースでのみどりの創出（p2-12）
    - ⑤ 生垣設置奨励助成制度や緑地協定制（p2-14）
3. みどりの維持管理を図る（協働）
  - ① 緑化活動団体への支援（p2-17）
  - ② 公園アダプト制度の推進（p2-19）
  - ③ 公園愛護会の充実（p2-21）

## (5) 数値目標

みどりのまちづくりの基本理念を実現するための数値目標を定めます。

### 1) 公園の確保目標

理想的な公園・緑地の整備量として、**市民一人当たりの公園面積が20㎡を超えている**ことが望まれます。(国土交通省：緑の政策大綱より)

この数値を長期的な理想像として目指すとともに、「新・新潟市総合計画」の最終年次である平成26年度(2014年)に**市民一人当たりの公園面積12.8㎡を確保**することを目標として掲げます。



### 2) 市民による緑化活動の拡大目標

市民が自らの手でより良いまちづくりを実践することにより、**市民の新潟市に対する愛着や誇りが醸成される**と考えられます。そのためにも、市民が率先して緑化活動に参加できる環境づくりが非常に重要となります。

市民による緑化活動の支援の周知・PRすることにより、活動環境を充実させ活動意欲を掘り起こし、平成26年度(2014年)には**320の緑化活動団体に支援を拡大**することを目標として掲げます。



※緑化活動団体とは

概ね5名以上の団体で、花苗などの支給を受け公園・道路などの公共施設の緑化を行う団体。

## (6) みどりの将来像の実現に向けた取組み

行政をはじめ、地域住民、ボランティア、NPO、民間企業など多様な主体での取組みが重要であり、必要に応じ連携することにより、みどりの将来像の実現を目指していきます。

### 「新潟市みどりの基本計画」

#### 【里山・海岸林のみどり】

(現況)

にいつ丘陵、角田山・多宝山の里山は、かつては第一次産業従事者や地域住民の薪炭林としての利用によって森林が守られてきましたが、林業の衰退や住民に利用されなくなったことで、里山の荒廃が進み、森林が持つ本来の機能が発揮できなくなっています。

海岸保安林は、市街地や田畑を風潮害から守る、市民の憩いの場、二酸化炭素の吸収源など、公益的機能をもつ新潟のまちづくりには欠かせない重要な松林ですが、ここ数年松くい虫被害が年間約7千本以上発生しており、保安林機能が十分発揮されていない場所もあります。

(課題)

里山では、森林環境を保全しその魅力と価値を高め、次世代に引き継いでいくため、住民・市民の協働による保全と活用の仕組みづくりが必要です。

海岸保安林では、県営治山事業による保安林整備の継続の他、森林ボランティア活動の“輪”を広げていく必要があります。

(個別課題・施策)

- ・長期的な森林整備の方向性
- ・里山の再生（保全・活用）
- ・住民・市民の協働による保全と活用の仕組みづくり

- ・「森林整備計画」
- ・「にいつ丘陵里山保全活用基本計画」
- ・「角田山、多宝山保全活用基本計画」
- ・「新潟市地球温暖化対策実行計画」

#### 【田園のみどり】

(現況)

新潟市の農業・農村地域は、海岸沿いの砂丘部と水田中心の広大な平野部に分けられ、市街地を包み込むように展開しています。

また、本市の土地利用の約6割が農地で占められており、この広大な農地は、貯水・遊水・排水機能・環境浄化機能によって地域防災や環境保全の面でも高く評価されています。

しかし、農地面積は、住宅や工場、公共施設用地などへの転用により、平成7年から平成17年の10年間で1,175haの減少となっています。耕作放棄地も年々増加しており、平成17年度は10年前に比べ5倍強の786haとなっています。今後、農業従事者の高齢化や後継者不足等により、耕作されない農地が増えることも予想されています。

(課題)

今後は、農村が有する多彩な魅力資源の発掘・保全・改善により、農村の魅力を高める必要があります。

また、水辺や緑地、農地のネットワーク化やビオトープ整備により、生物生息空間としての農村の質を高めることが求められています。

(個別課題・施策)

- ・市街地をやさしく包む田園の保全
- ・地域資源の発掘・保全
- ・住民合意による田園景観・集落景観の形成
- ・環境用水の導入等による水辺の環境改善

- ・「農業振興地域整備計画」
- ・「新潟市農業構想」

#### 【河川・潟のみどり】

－河川－

(現状、課題)

河川整備については、河川環境に対する住民意識の高まりにより、平成9年度に治水・利水だけでなく、河川環境の整備と保全を目的に加えた河川法の改正がなされました。これは利水の高度利用によって自然の河川環境が著しく損なわれる事例があつたを絶たず、また、河川そのものをレジャーの一環として利用する傾向がさらに高まったことが改正の動機となりました。

現在の河川整備の計画は、洪水氾濫等による災害から貴重な生命・財産を守り、地域住民が安心して暮らせるよう河川管理者と連携し、水系全体のバランスのとれた治水安全度を向上させる必要があります。

また、自然豊かな河川環境と河川景観を保全・継承するとともに河川の多様性を意識しつつ治水・利水・環境に関わる施策を総合的に展開する必要があります。

(個別課題・施策)

- ・河川工事による環境に対する影響の回避、低減
- ・かつての良好な河川環境の再整備
- ・動植物の生息、生育、繁殖地の保全・整備

- ・「信濃川水系・阿賀野川水系の河川整備計画」
- ・「生活排水対策推進計画」
- ・「下水道中期ビジョン」

－潟（湖沼）－

(現状、課題)

潟等の湖沼は、水鳥にとって重要な渡来地となっており、日本のレッドリストの絶滅危惧Ⅱ類に属するオニバスをはじめとした植物や、魚介類などが豊富に生息し、多様な生態系を形成しています。地域住民は、昔からこの豊かな自然環境を背景として、潟と密接に関わり、調整池や水源としての利用、潟の産物の有効利用を通して、地域の財産として潟を保全しながら利用を行ってきました。

今後は、この自然豊かな潟を将来にわたり保全すること、また、地域住民の賢明な利用を推進することが課題となっています。

(個別課題・施策)

- ・潟及びその周辺を含めた環境の保全
- ・多種多様な動植物が生育、生息しやすい環境づくり
- ・多様な主体で行う質の高い活動の展開

- ・「鳥屋野潟周辺整備計画」
- ・「鳥屋野潟水質改善計画」
- ・「信濃川水系、鳥屋野潟第二期水環境改善緊急行動計画」
- ・「佐潟周辺自然環境保全計画」

#### 【まちのみどり】

(現状、課題)

新潟市は市全体では緑は豊富ですが、まち（市街化区域または用途地域）に限定すると非常に緑が少ない状況です。平成18年度調査の緑被率（植生に覆われた面積比率）は10%であり、わが国の主要都市と比較しても非常に低くなっています。

新潟市はこれまで、積極的に都市公園整備などの緑化推進に取り組んできました。これに伴う緑の創出については一定の成果が見られるものの、それを上回るスピードでまちの拡大による農地の減少や、まちの中の良好な樹木の減少などが進んでいる状況であり、まちの中での緑不足の改善が重要な課題となっています。

したがって、具体的な施策の立案や、区別の取組み方針の設定など、緑の少ないまちを中心とした緑の保全・創出、ならびに緑化の推進を強化する必要があります。

(個別課題・施策)

- ・公共空間でのみどりの創出
- ・民間緑地の保全、緑化の推進
- ・みどりの維持管理を図る（協働）

- ・「新潟市みどりの基本計画」
- （まちのみどりの保全・創出、緑化推進の取組み）
- ・「花育推進計画」